

エクアドル

主要データ

国名〔英名〕	エクアドル共和国〔Republic of Ecuador〕
面積(km ²)	283,561
海岸線延長(km)	2,237
人口(百万人)	15.0
人口密度(人/km ²)	52.9
GDP(百万US\$)	58,910
一人当りGDP(US\$)	3,984
主要鉱産物：鉱石	金
主要鉱産物：地金	粗鋼
鉱業管轄官庁	非再生天然資源省 (Ministerio de Recursos Naturales No Renovables)
鉱業関連政府機関	鉱業管理調整機構 (ARCOM : Agencia de Regulacion y Control Minero) 地質鉱業冶金研究所 (INIGEMM : Instituto Nacional de Investigacion Geologico, Minero, Metalurgico)
鉱業法	鉱業法 (2009年1月に新鉱業法が公布)
ロイヤルティ	鉱業法第92条
外資法	外国投資促進法 (1997年)
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	環境管理法 (法律第121号、2009年)
鉱業公社	ENAMI (Empresa Nacional Minera)
鉱業活動中の民間企業	Kinross Gold、IAMGOLD 他
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	・地域住民の環境問題に対する意識が高まり、反鉱山開発運動が広がりを見せている ・2009年1月に公布された新鉱業法により、資源の国家管理及び環境規制が強化
2010年のトピックス	・2010年12月より、新鉱業法に基づく鉱業契約に関する政府と民間企業との交渉が開始された ・2011年5月に、政府が国家鉱業開発計画を策定したと発表

1. 鉱業一般概況

エクアドルは、石油産業及び農林水産業が主に輸出を支えているが、輸出産業の多角化を目指す政府は、非鉄金属産業の発展に期待している。

現在、同国の鉱産物生産に特筆するものはなく、小規模採掘による年間数t程度の金の生産が報告されている程度である。しかし、ペルーから同国に続くアンデス山脈地帯は、ポーフィリーカップー鉱床などのポテンシャルが高く、その中で、Mirador 銅開発プロジェクトは、同国初の本格的な銅鉱山としての開発が期待されている。

一方、エクアドルでは、2008年4月に Mandato Minero (鉱業指令) によって長らく探鉱開発活動が凍結されていたが、2009年1月29日に新鉱業法が公布され、また、同年11月に鉱業法施行細則が制定されたことに伴い、徐々に探鉱活動の再開が政府により許可され、2011年4月現在、7社のプロジ

エクトに対して鉱業活動の再開が認可されている。

2. 鉱業政策の主な動き

(1) 鉱業契約

エクアドル政府は、2010年12月に、新鉱業法第41条(Contrato de Explotacion Minera)に基づき、大規模及び中規模鉱山の操業に関して鉱山会社と政府との間で取り交わされる鉱業契約のモデルを作成し、また、下記の探鉱ステージの進んだ戦略的プロジェクト5件について、その後契約交渉を進めると発表した。鉱業契約では、ロイヤルティや超過利益に対する課税方法、契約期間などが定められることとなっている。

- ① Fruta del Norte 金・銀プロジェクト (Kinross Gold 社(加)、Zamora Chinchipe 県)
- ② Quimsacocha 金・銀プロジェクト (IAMGOLD 社(加)、Azuay 県)
- ③ Rio Blanco 金・銀プロジェクト (IMC: International Minerals 社(米)、Azuay 県)
- ④ Mirador 銅・金・銀プロジェクト (Ecuacorriente 社(加)、Zamora Chinchipe 県)
- ⑤ Panantza-San Carlos 銅プロジェクト (Ecuacorriente 社(加)、Morona Santiago 県)

これらプロジェクトに関する企業との契約交渉は、上記の内、Fruta del Norte、Rio Blanco 及び Mirador プロジェクトが先行して交渉され、政府は2011年4月までに契約が締結されるとの見通しを示していたが、交渉は難航し、2011年8月現在、まだ合意に至っていない。交渉が長引いている要因として、政府は、操業コストが鉱山や鉱種毎に異なるためコストの算出に時間を要していることや、金属価格の変動が大きいことなどを挙げている。

なお、2011年8月にコレア大統領は、鉱業活動によって得られる利益の53%を国へ納めるよう鉱山会社へ求める考えを明らかにするとともに、鉱山会社に対してはロイヤルティの前払いを要請し、これにより約1~2億US\$が納められるとの見通しを示した。また、現在最終調整段階にある鉱業契約に関しては、10月までに署名したいとの考えを示した。

(2) 国家鉱業開発計画

2011年5月に、政府は国家鉱業開発計画を策定したと発表した。これにより、開発地域が指定され、新たな鉱区の取得に際しては鉱業公社(ENAMI)が優先される。また、民間企業に対しては入札によって鉱区が付与される。

2011年7月に、Pastor 非再生天然資源大臣は、2011年10~11月に、ENAMI 所有以外の10件の鉱区について国際入札を行うと発表した。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減比(%)
金(t)	3.2	3.2	3.2	0.0

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2011)

(2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2008年	2009年	2010年	対前年増減比(%)
粗鋼(千t)	128	259	372	43.6

(出典: Steel Statistical Yearbook 2011)

(3) 主要金属消費量

表 3-3. 金属地金消費量

鉱種	2008 年	2009 年	2010 年	対前年増減比 (%)
銅 (千 t)	3.5	3.5	3.5	0.0

(出典 : ICSG Copper Bulletin May 2011)

(4) 主要金属輸出量

データなし

(5) 主要金属輸入量

データなし

4. 鉱山・製錬所状況

現在、当国において特筆すべき鉱山、製錬所はない。

5. 探鉱状況

(1) Mirador

エクアドル南東部 Zamora Chinchipe 県の Corriente カッパーベルトと呼ばれる地帯に位置するボーフィリー型銅・金鉱床で、Corriente Resources 社（加）が権益を有している。同社の現地子会社である Ecuacorriente 社（ECSA）によって探鉱が進められてきたが、地域住民や環境 NGO の鉱業開発反対運動などにより、2006 年末以降、探鉱活動は停止状態となっていた。また、2008 年 4 月に発令された Mandato Minero により探鉱活動は引き続き停止されていたが、2009 年 11 月に政府により鉱業活動の再開が許可され、2010 年に FS が終了している。

なお、中国資本の CRCC-Tongguan Investment 社（China Railway Construction Corp と Tongling Nonferrous Metal Group Holdings の合併企業）が、2010 年 8 月までに同社の株式の 100% を取得したと発表した。

Mirador 探鉱プロジェクトの概要は以下のとおりである。

- ・ 鉱量：8 億 8,900 万 t（精測、概測及び予測資源量）
- ・ 品位：銅 0.56%、金 0.161g/t、銀 1.089g/t
- ・ 採掘法：露天掘
- ・ 予想開発投資額：4 億 1,800 万 US\$
- ・ 予想生産量：銅 62.2 千 t/年、金 1.1t/年、銀 12.3t/年

(2) Fruta del Norte

エクアドル南東部 Zamora Chinchipe 県に位置し、Kinross Gold 社（加）が権益を所有する探鉱プロジェクト。Fruta del Norte は浅熱水性の鉱脈型金・銀鉱床で、2009 年 11 月に政府の探鉱活動許可を受けて、4 本の探鉱ボーリングが再開され、2010 年にプレ FS が終了している。

- ・ 鉱量：4,900 万 t（精測、概測及び予測資源量）
- ・ 品位：金 6.863g/t、銀 10.806g/t
- ・ 採掘法：坑内掘
- ・ 予想開発投資額：11 億 US\$
- ・ 予想生産量：金 12.2t/年、銀 13t/年

(3) Quimsacocho

エクアドル中南部 Azuay 県、Cuenca 市近郊に位置する浅熱水性の鉱脈型金・銀・銅鉱床で、IAMGOLD 社（加）が権益を有する探鉱プロジェクトである。

2009 年 2 月における同社の発表では、推定埋蔵量 810 万 t、金品位 6.5g/t となっている。

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

データなし

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

7. その他トピックス

特になし

(2011. 8. 25 リマ事務所 山内英生)